



きとう

鬼頭たつや

江東区議会議員



新型コロナウイルス ウイルスの第5波では、江東区内でも一日 200 人を超える感染者が発生しました。しかし、第5波の終息に向け多くの皆様の協力をいただき本年 10 月末には、東京都におけるリバウンド防止措置が終了するなど徐々にこれまでの生活を取り戻しております。

鬼頭たつやは、区民の皆様の不安を払拭させるために、より迅速に新型コロナウイルスの感染症対策と区民生活の支援に全力で取り組んでおります。厳しい状況下にありますますが自らの命を守るために、どのような行動が求められているのか。皆さんと共に考え、この難局を乗り越えてまいります。自らの命を守る行動を！！

令和3年 議会活動ダイジェスト

第3回 定例会

令和3年度 予算審査特別委員会の開催



新型コロナウイルスとの戦いは、これからも永く続きます。更に第6波は必ず来ると専門家は警鐘を鳴らしており、こうした状況を踏まえ区民の感染再拡大に備えるため、感染症患者の受け入れを行う区内医療機関への区独自補助の拡充や患者搬送体制の強化、こども食堂に対する支援等喫緊の課題への対応の経費として、今年度5回目となる総額39億300万円の補正予算を編成いたしました。

予算委員会は、9月24日に開催され、鬼頭たつやは民生費において近年大きな注目を集めている「こども食堂」の支援について質問しました。



補正5号の概要（新型コロナウイルス対策予算 16億2,712万円）



区民生活を支える取り組み

13億6,752万円

区民全般

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保
905,859千円
- 入院医療費の確保
270,756千円
- 施設使用料等の特例的措置の再延長
69,427千円
- 患者搬送体制の充実
49,830千円
- 電子申請サービスの推進
19,649千円

こども関係

- パラリンピック観戦のための移手段の確保
52,000千円

区内事業者を支える取り組み

1,573万円

高齢者・障害者施設

- 高齢介護・障害福祉サービス事業所への支援
・9月末までとしていたPCR検査費用の補助延長

こども関係

- 認可外保育施設等への運営補助
13,728千円
- こども食堂に対する支援強化
2,000千円

医療機関・従事者を支える取り組み

2億4,387万円

- 医療機関への支援
243,868千円
・新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っている医療機関に対し患者対応に要する人員や医療資機材、病床確保のための補助を実施

第3回
定例会

令和2年度 決算審査特別委員会の開催

【令和2年度決算額】

会 計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度への繰越額
一 般 会 計	2,602億9,757万3千円	2,532億5,596万6千円	70億4,160万7千円
国民健康保険会計	472億7,049万4千円	454億2,547万4千円	18億4,502万円
介護保険会計	348億7,904万7千円	340億2,153万1千円	8億5,751万6千円
後期高齢者医療会計	104億3,323万3千円	102億5,489万9千円	1億7,833万4千円
合 計	3,528億8,034万7千円	3,429億5,787万円	99億2,247万7千円

第3回定例会では、令和2年度各会計歳入歳出決算を審査する決算審査特別委員会が9月27日～10月4日までの間で5日間開催され、一般会計をはじめ各会計の歳入歳出決算の審議を行いました。今回の決算委員会では、新型コロナウイルス感染症対策として江東区が実施した「区民生活」、「区内事業者」、「医療機関・従事者」の3つを支える取り組みを検証するとともに、区政全般にわたる取り組みについて審議いたしました。

この委員会で産業経済費と公債費、諸支出金について質問しました。



決算審査特別委員会での質問

■ 産業経済費

(1) 商店街連合会支援事業について

Q：区及び商店街連合会では、昨年度緊急経済対策の一環として、過去最高となる8億4千万円の区内共通商品券を発行した。厳しい状況にある商店街からも評価されているが、令和2年度の最終的な発行実績に対する区の評価を質問しました。

A：令和2年度のプレミアム付区内共通商品券は先着順に受付を行い順次販売を開始した。実際に郵便局で販売された額面総額は7億6,609万2千円で、そのうち99.6%が区内店舗で使用され大きな経済効果をもたらすことができたと考えている。

(2) 商店街イベント補助事業について

Q：新型コロナウイルス感染症の影響を受けイベント事業をやむなく中止する商店街も数多くあったと聞いているが令和2年度では、感染状況が予測できない中で困難な状況が続いたが、イベント事業の実施状況について区の認識を質問しました。

A：令和2年度においては、新年度に入る頃より感染が拡大し始め結果的には、当初28商店街46事業の予定であったが、実施に至ったのは17商店街22事業に留まり、前年度と比べ事業数は半数、事業費は半数以下となっている。

(3) 地域連携型商店街事業について

Q：地域コミュニティの希薄化が進行しており、商店街においても後継者不足から店舗をマンションに転用するなど大きな問題となっている。商店街が活性化するには、この補助事業は非常に意味があるので、この事業の趣旨と実施状況を質問しました。

A：商店街が地域団体等と連携し、地域のニーズに対応して商店街を含めた地域一帯の賑わい創出に向けて行う取り組みに対して補助することにより、商店街の地域での役割を高め地域の活性化を図ることを目的に開始した事業で、2団体が取り組んでいる。

■ 公債費

(1) 公債費の現状について

Q：公債費は、過去に借りた区債を返済するためのもので当然利子も含めた支払いとなり利子分で2億8千万円とある。民間企業でもなるべく利率の低いものを選択するが、令和2年度で返済した公債費における借入時の利率の状況を質問しました。

A：前提として利率は借入先や借入時点の金利動向により差があり案件ごとにバラつきがある。令和2年度に償還した案件は、合計94件で、借入年度が最も古いものは平成10年度で、最も新しいものが令和元年度発行で、利率は全体の9割強が2%未満である。

(2) 後年度負担について

Q：借金である公債費が少ない方が良いが、今後庁舎をはじめ公共施設の改築や大規模改修で借金をした時に利率が高いと後年度負担は大きくなる。今後の財政運営を考える上でも利率の低いところから借り入れるべきと考えるが区の認識を質問しました。

A：借入れ先を選択する際には金利や償還期間など好条件での借入れを検討することが肝要であると認識している。しかし、一つの借入れ先から借入れができる金額に限りがあり、全て本区の希望通りにはならないが金利を踏まえ幅広く検討する。

■ 諸支出金

(1) 特別会計繰出金について

Q：毎年度一般会計から国保会計に繰り出しているが、諸支出金に加え民生費にも同じような繰出金があります。それぞれの繰出金においてどのような違いがあるのか。諸支出金と民生費における国保会計への繰出金の内容を質問しました。

A：諸支出金は、職員給与費等繰入金、出産育児一時金等繰入金、その他一般会計繰入金に該当するもので、民生費における繰出金は主に保険基盤安定繰入金、保険者支援分保険基盤安定繰入金で低所得者や中間所得層の保険料軽減に対応する。

き

鬼頭たつやのプロフィール

- 昭和28年10月15日 江東区生まれ(てんびん座・B型)
- 数矢小、日大一中、日大一高、日本大学経済学部卒業
- 深川仲町通り商店街 副理事長
- 数矢小学校 元PTA会長



深川仲町通り商店街
公式キャラクター「なかもん」

皆様のご意見をお聞かせください

<連絡先> 〒135-0047 江東区富岡 1-8-13
電話 090(4951)4540 FAX 03(3642)9658

鬼頭たつやの活動は、
ホームページをご覧ください!

ホームページアドレス <https://t-kitou.com/>